

## 「第2期健康くるめ21」計画の概要について

### 1. 計画策定の背景

生活環境の向上や医学の進歩などにより、平均寿命が延びる一方で、不規則な食生活や運動不足等の生活習慣の変化などにより、がんや糖尿病等の生活習慣病が増加している。

このため、今後においては、単に平均寿命を伸ばすだけではなく、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間（健康寿命）を延ばすことが重要である。本計画は、これらを背景として策定したものである。

### 2. 計画の期間

平成25年度から平成34年度まで（10年間）

※計画策定から5年目となる平成29年度に、中間評価を実施。

### 3. 計画の目標

基本目標：健康寿命の延伸

達成目標：健康寿命の伸びが平均寿命の伸びを上回ること

※健康寿命とは、「日常生活動作が自立している期間の平均」のことであり、具体的には、「要介護2未満」のことを指す。

### 4. 取り組みの体系図

基本目標	基本方針 (5方針)	取組項目 (14項目)	評価指標 (54指標)
健康寿命の延伸	(1)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	①糖尿病・循環器疾患の予防 ②がんの予防	14指標
	(2)健康に関する生活習慣の改善	①栄養・食生活の改善 ②身体活動・運動の推進 ③歯・口腔の健康の維持・増進 ④禁煙の推進 ⑤適正な飲酒の推進	17指標
	(3)こころの健康づくりの推進	①休養・こころの健康の維持・増進 ②自殺対策の推進	3指標
	(4)個人の健康を支える環境の整備	①身近な地域での市民主体の健康づくり支援 ②健康づくりを支えるしくみの充実	3指標
	(5)すべての子どもが健やかに育つ社会環境の整備	①切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策の推進 ②学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の推進 ③子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進	17指標

※(5)の方針(母子保健分野)は、計画の一部変更をし、平成28年度から本計画に追加。

5. 中間評価の結果（平成29年度）

(1) 目標の達成状況

項目	男性			女性		
	基準値 (H22年)	中間評価 (H27年)	延び 年齢	基準値 (H22年)	中間評価 (H27年)	延び 年齢
①健康寿命	77.11歳	77.94歳	0.83歳	82.14歳	83.50歳	1.36歳
②平均寿命	78.47歳	78.93歳	0.46歳	85.26歳	86.14歳	0.88歳
非自立期間(②-①)	1.36歳	0.99歳	—	3.12歳	2.64歳	—

※非自立期間とは、不健康状態の期間（要介護2以上）のことを指す。

(2) 各評価指標の達成状況

基本方針	評価 指標	評価区分			
		A	B	C	D
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	14	5	7	0	2
健康に関する生活習慣の改善	17	2	8	1	6
こころの健康づくりの推進	3	1	0	0	2
個人の健康を支える環境の整備	3	0	2	0	1
すべての子どもが健やかに育つ社会環境の整備	17	4	10	1	2
合計	54	12 (22%)	27 (50%)	2 (4%)	13 (24%)

[評価区分：基準値と中間評価実績値の比較]

A：目標値を達成した。

B：目標値は達成していないが、改善傾向にある。

C：変わらない。

D：悪化している。

※一つの評価指標に複数の目標値がある場合は、総合的に判断。